

## 中央大学 2026 年度一般選抜【出題の意図】

試験日：2026 年 2 月 15 日

学部：経済学部Ⅱ

科目：国語

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

### 問一

今日「個性」ということが無条件に称揚され、教育においても「個性」重視がうたわれているが、それには見過ごせない問題が潜んでいることを指摘している文章である。「個性」についての常識的な見方に引きずられることなく、個性と消費社会との関係、教育において「個性」を目標とすることの問題性を指摘する筆者の議論の筋道を的確に読み取れているかがポイントとなる。

### 問二

現代文の論理的文章についての問題です。渡辺裕の文章を題材としました。

明治になってから唱歌というものが作られますが、それはどのような意図で作られたのか、明治の音楽家たちはどのようなことを考えていたのか、現代とどう違うのか、などを論じた箇所から出題しました。

従来の文化と違う西洋文化に出会ったときに、どのようなことが起こっていたかを知ることで、現代の文化論を考え直すきっかけになる文章です。異文化交流は、受験生にとっても身近に感じられる題材ですが、常識的なこととは違うことが書かれている文章なので、記述に即して、論旨を的確に読みとる力が必要です。

### 問三

第三問は、古文についての問題です。平安時代の説話集である『今昔物語集』の説話を題材としました。古文の基礎的な語彙・文法の理解をふまえ、「ものをかしういふ者」である主人公助泥の言い分や行動のおかしみが、文章に沿って理解できたかを問いました。